

東南アジアの自然と農業研究会

第 111 回研究例会のご案内

第 111 回定例研究会を開催いたします。今回は、総合地球環境学研究所の 藤田 弥生 氏に下記のように報告していただきます。皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

なお、今回は「東南アジア大陸山地部研究会」との共催となります。開催日も第 4 週の金曜日ですのでご注意ください。

記

日 時： 2003 年 6 月 27 日（金）午後 4 時～午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め

話題提供者： 藤田 弥生 氏

話 題：「国立森林保護地域における土地利用の変化と土地所有制度に関する考察」

要 旨： 今回の発表では、ラオス国立森林保護地域のひとつ、ヴィエンチャン北西部に位置するプーパナングの土地利用変化と森林保全制度導入の問題をとりあげる。発表者は、ラオス国立大学林学部の研究者等とともにプーパナングに隣接する村落の土地利用変化に関する調査を行ってきた。まず、この村落における慣習的な森林や土地の区分とその利用、そして所有制度について紹介する。次に、1952 年から 1998 年における村落の森林面積の変化とその要因、そして土地所有制度の変化に関して考察する。最後に、1990 年代に新たに導入された森林保全制度が、村落の土地利用や土地所有制度にもたらした影響、そして現在の森林保全制度の問題点について紹介する。

問い合わせ先： 星川圭介 総合地球環境学研究所
Tel. 075-229-6194 [mailto: hoshi@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:hoshi@kais.kyoto-u.ac.jp)
田中耕司 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7307 [mailto: kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp](mailto:kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp)

ホームページ： <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/seana/>